

心不全・心筋症専門医 施設認定基準 (5年ごとに更新)

2026.7.27

* 実施件数は、申請前年の1月～12月を1年の単位として計算する			新規	更新(5年ごと)	専門医不在に伴う 施設更新猶予(1年)
設備要件と人材要件					
1.	日本循環器学会 研修施設	--	○	○	○
2.	心不全専門医の在籍	1名以上	必須ではない * 2030年までの移行措置	○ (必須)	不在
3.	慢性心不全看護認定看護師、心不全看護認定看護師 または心不全療養指導士の在籍	2名以上	○	○	○
4.	多職種による心不全カンファレンスの継続的な実施歴	毎月1回以上	○	○	○
臨床実績					
・以下の5項目全てを実施可能な場合 「基幹施設」 として認定 ・4. M-TEERの条件を満たさない場合は、他の項目(1～3と5)をすべて実施可能な場合 「関連施設」 として認定					
1.	心肺運動負荷試験 (CPX)	30例/年	90例/3年	150例/5年	
2.	心臓再同期療法 (CRT) または、植込み型除細動器 (ICD)の新規植込み症例数	5例/年	15例/3年	25例/5年	
3.	心臓MRIまたは心筋生検症例数 (各5例/年は必須)	30例/年 (各5件はを含めること)	90例/3年 (各15件はを含めること)	150例/5年 (各25件はを含めること)	
4.	経皮的僧帽弁接合不全修復術 (M-TEER)	3例/年	9例/3年	15例/5年	
5.	補助循環用ポンプカテーテル (IMPELLA CP/5.5)	5例/年	15例/3年	25例/5年	

「基幹施設」と「関連施設」の区別について補足

- ・ **「関連施設」**の認定施設がM-TEER項目を達成できるようになった場合は、3年待たなくても、M-TEERを9件達成した段階で、**「基幹施設」**として認定を変更できる。
- ・ 個人要件のうち、申請する研修期間のカウントについて
「関連施設」の場合、**「基幹施設」**の1/2として計算し、基幹施設・関連施設の研修期間を合算して申請できる。